

COVID-19 関連続発性器質化肺炎 に関する患者さんの情報の研究利用 についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター総合内科・感染症科では、「COVID-19 関連続発性器質化肺炎の発症率・発症リスク因子に関する過去起点コホート研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、COVID-19 の患者さんの COVID-19 関連続発性器質化肺炎に関する臨床経過を調べて、発症率がどのような要素から影響を受けているかを明らかにすることです。

この研究のため、2020年3月1日より2021年10月1日までに治療した方の診療録・検査データ・画像データ・既往歴の調査を行います。対象となるのは COVID-19 で薬物治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年8月

研究責任者

東京医療センター 総合内科

勝俣 敬寛

連絡先 03-3411-0111(代表)